

こみゆにていー戸隠

戸隠地区住民自治協議会広報 第41号

戸隠地区住民自治協議会事務局
〒381-4102 長野市戸隠豊岡1554
Tel: 254-2490 Fax: 254-2327
e-mail: togakusi-juumin@tgk.janis.or.jp

発行者：戸隠地区住民自治協議会長 小林 将信

【令和元年9月発行】

委員会活動報告

公民館委員会

戸隠地区レクリエーション大会 7月7日



準備体操で体をほぐす



後は任せた



狙いを定めて



ストライク？

梅雨空の中、ぞくぞくと車で来られる選手・応援の方々が集まる、戸隠体育館で開会式が行われました。種目は2会場3種目で今年は14チームの参加がありました。試合が始まり運動不足気味の選手が多い中、段々熱が入り、ファインプレーや珍プレーも見受けられ、会場は拍手、声援で盛り上がり、勝敗はともかく、試合後双方握手で健闘を讃え合う光景も見られました。

地区の多くの方々が参加していただき、今年のレクリエーション大会が終了しました。

大会に当たって、戸隠中学校の生徒の皆様にはボランティアで審判を努めていただきありがとうございました。

又、各地区の参加していただきました皆様、本大会にご協力誠にありがとうございました。

実行委員長 和田 太

競技結果

○ソフトバレーボール							
優勝	宝光社チーム	準優勝	平チーム	3位	東部チーム	敢闘賞	中社チーム
○囲碁ボール							
優勝	上祖山チーム	準優勝	中央チーム	3位	志垣チーム	敢闘賞	川手チーム
○スマイルボウリング							
優勝	上祖山チーム	準優勝	中央チーム	3位	南部チーム	敢闘賞	川手チーム



高千穂焼に挑戦



天の岩戸神社にて



トロッコ列車に乗る



高千穂峡にて



彫物体験上手に出来ました



お別れ式 お世話になりました

7月29日～8月1日の4日間、5年生2名と引率者2名で高千穂町ホームステイに行ってきた。私自身今回が4回目の高千穂町ですが、前回からは20年以上経過し、高千穂町の印象がかなり薄れたため、本当に懐かしく、また新鮮な気持ちで故郷のような高千穂町での「時」を過ごすことが出来ました。

初日、到着直後の高千穂町役場での受け入れ式では、子供達は、かなり緊張した様子で正直心配しました。しかし、その心配は全く無用で、ホームステイ宅で一晩過ごした翌朝には、すっかり仲良しになり、子供らしい「はしゃいだ会話」が車中に溢れ、子供達の適応力に関心させられました。

高千穂町では、高千穂焼、温水プール、天の岩戸神社など神話にまつわる多くの神社巡り、トロッコ列車や高千穂峡などの様々な体験プログラムを用意していただきました。滞在期間中、ホームステイ先の子供達とは2人とも本当の兄弟のように楽しく過ごすことができ、千キロ以上離れた地での交流体験は、今後において貴重な糧になったものと思います。また、15年ほど前に我が家でホームステイし、今でも息子と交流のあるKさんが、すっかり大人に成長し、町職員として活躍され、今回役場で再会できたことも大変うれしい出来事でした。このように、今回のホームステイが冬の戸隠でのホームステイにつながり、子供達の交流が未長く続いていくことを願います。

高千穂町との姉妹町村盟約の礎であります「天の岩戸神話」に因み、双方で岩戸（壘）投げ大会が行われてきましたが、今年7月に「戸隠そばフェス」で行われた際には、天の岩戸神社の佐藤宮司様から貴重なメッセージを頂戴しました。天の岩戸神社参拝の際には、その御礼をお伝えすることもでき、神話の時代から続く高千穂と戸隠の「縁」を後世につなげていくことの大切さを感じました。

ホームステイを受け入れていただきました両家様には、明るく元気なお子様とともに、真心のこもったご対応をいただきましたことに御礼申し上げます。また、熊本空港到着から出発までの4日間常にご同行いただき、関係職員の皆さまとの交流会など、様々な面で心温まるご配慮を賜りました高千穂町役場の皆様に敬意と感謝を申し上げ、ホームステイの報告といたします。

引率者 塚田 康人



雨の中ご苦労様でした

6月30日朝6時から戸隠運動場の草刈を行いました。

当日は前日からの雨が降り続き最悪の状態でした。それでも100人を超える人達の参加をいただき40分程で作業を終わらせる事が出来ました。

帰り支度をしていると下の駐車場から、「救急車」と叫ぶ声が聞こえました。階段を昇る時に足を踏み外して転倒したとの事でした。幸いにも救急車が早く来てくれ、後日様子を聞いたところ軽傷で済んだとの事で安心しました。

当日雨降りの中で作業をしていただいた参加者の皆様、本当にご苦労様でした。総務委員長 中澤 孝市

健康福祉委員会

ひとり暮らし高齢者のつどい

7月4日、ひとり暮らし高齢者のつどいが「鬼無里の湯」を会場に実施され、役員も含めた23名の参加者は、前日の雨で増水した裾花川を見ながら鬼無里を目指しました。

最初に、市職員による「介護予防あれこれ講座・口からの病気を防ごう」を受講しました。歯磨きのコツなどを学んだあと、唾液腺マッサージと、ウサギとカメの歌にあわせて「舌のあめ玉体操」を元氣よく楽しく行いました。

薪で沸かしたお風呂に入浴後、いよいよお楽しみのお懇親会が始まりました。初めて会った人、久しぶりの同級生、数年ぶりに再会した人などと和気あいあいに宴会が進行しました。それぞれの人から様々なお話をお聞きして、ひとり暮らしの人が増加する中、地域での支え合い活動の必要性を感じました。

いろは堂でおやきの買い物後、12月の第2回のつどいでの再会を約束し帰途につきました。

健康福祉委員長 武内 一夫



介護予防について勉強



和気あいあいと宴は進み



恩師に感謝を込めて



全員で校歌を唄う

公民館委員会

令和元年度
戸隠地区
成人祝賀会



元号が令和になり、初めての成人式の実行委員長を務めさせていただき、最初はどのように進めたら良いのか不安でした。事務局の説明、実行委員の意見など聞き当日を迎えました区長さん方のお手伝いをいただき、会場準備が整い祝賀会が始まり、久しぶりに会えた同級生・恩師先生方は懐かしい思い出話に盛り上がっていました。短い時間ではありましたがなんとか任務を終わらせる事ができました。

新成人・来賓者、大勢の出席をいただき盛大に開催出来ました。ありがとうございました。

実行委員長 小島 信明

祝卒業

地域おこし協力隊

水谷 翔 隊員



花豆ベジタコライス



このこのえの店舗内



エディブルフラワークッキー

濃厚な3年間が終了しました。自然豊かな里山での暮らし・仕事の充実感は格別ですが、私の場合、所謂スローライフとは異なり、目まぐるしい展開とスピードの早い3年間でした。

都会やビジネスライフとは異なった人間模様・信頼形成のために必要なことが里山には多々あります。まずはこれを第一にしました。

環境と人々の暮らしには、相関関係があると私は考え、郷に入れば郷に従えで、様々な寄合い・集会・公道の草刈り・水路掃除等、参加できる限りは、全て参加しました。同じ空気を吸い、同じ釜の飯を頂くスタンス。

頭で考え過ぎず、まずは行ってみることに、やってみることに指針で取り組んできました。

私は、協力隊の3年後には事業をある程度軌道に乗せていくという目標を持ち、以下の4つの指針を立てスタートした。

- ①何でも食わず嫌いをせず、自分の手でゼロから全てやってみること
- ②地域内外・他分野にまたがる、志を尊重した人的ネットワークの形成
- ③農と食に関して専門性の高い知識・スキルを身に付けること及び質の高い情報ソースを持つこと
- ④ブランド戦略と情報発信体制を整備すること

これらを踏まえ、昨年秋に「戸隠このえ」として事業化し、現在は、小さな宿泊業・オーガニックカフェ・菓子製造・ビオファームの運営を夫婦で行っています。

これから地域の皆様との関わりを大切に、戸隠の良さ・魅力をお伝えしていけるよう努める所存です。

地域たすけあい事業



新しくなった「とがくし号」



協力員大募集

福祉移送車

「とがくし号」が新しくなりました！

するには、協力員さんの支援が不可欠です、本当にありがとうございます。

「新とがくし号」は4月23日に無事故を祈り「戸隠神社」にて安全祈願をしていただきました。

高齢化が進む中いずれ免許証も返納する日が来ます。「病院に行くにゃどーするだえ」とお悩みの方はご相談下さい。たすけあい事業は、「助けを必要とする人」と、「人の力になりたい人」とのほんわかとした出会いの場です。利用会員さんのプライベートを守りながら、心温まるふれあいを目標に、コーディネートして行きたいと思えます。

今後ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

平成20年から運行してきた一代目「とがくし号」は13万km以上走って引退となりました。

その間、大勢の登録利用者さんを自宅から病院等への移送サービスを提供してきました。この事業を進め

地域たすけあい事業コーディネーター 小池



元号が令和に代わり早五ヶ月が過ぎようとしています。他地区と同じく戸隠も人口減、高齢化が止まりません。健康福祉推進員の協力で、今年度全地区での「おしゃべりサロン」開催に力を入れています。大勢の皆様が参加をして元気で楽しい戸隠になると良いですね。

事務局